済生会兵庫県病院・神戸市による新病院の基本計画にかかる住民説明会

質疑応答まとめ（令和７年４月 19 日）

No.	質問・意見	回答
1	現地建替えは、当時 160 億円かかるとのことだったが、現在は 268 億円になっている。過去の資料では、統合は 84 億円いるが、現状の医療を維持する大規模改修は 50 億円で済むと載っていた。費用がかからない方法ですべきです。また、交通アクセス、用地買収問題もあるため、大規模改修こそが、済生会兵庫県病院の進む道ではないでしょうか。	大規模改修と建替えは違います。 大規模改修であれば、医療機能は数年間にわたって制約され、救急は受けられません。この地域から数年間救急がなくなってしまいます。また、改修後 268 床で稼働しても、今の新専門医制度の働き方などに対応もできず、救急医療を守れません。 現地建替えについては、建築物価が上がっており、4 年前に 160 億円だったものが、今では 300 億円ぐらいになります。それで 268 床です。大学に選ばれない病院になってしまいます。 （済生会兵庫県病院）
2	新病院が宅原に移転するとアクセスが問題となります。高齢化しているため、シャトルバスだけでは駄目で、神戸電鉄や神姫バスなどの交通機関とも相談しながら進めると思いますが、新病院へのアクセスをどのように考えていますか、また、改善していこうとされていますか。	岡場からのアクセス（シャトルバス）について、具体的な内容は神戸市と相談中ですが、今現在の状況をご説明させていただきました。 他のアクセスについては、開院が 5 年後であり、開院日や乗降客の見込みなど、もう少し具体的な状況が分かってからの話になりますが、交通機関とも相談しながら、しっかり検討していきたいと思っています。 （済生会兵庫県病院）
3	土地取得費は一体どれくらいでしょうか。 三田市は 10 年間で、93 億円の財政赤字が出ると報道されています。安心して新病院を建てられるのでしょうか。見通しをどう考えていられるかお聞きしたい。	今後、用地は交渉の上で買収をしていくということになりますので、用地費に関しては、公表しておりません。 （神戸市） 10 年間で 93 億円の収支不足については、今回の新病院の整備費とは直接的には関係が極めて低いものですが、今後、事務事業や行政経費の見直しを行う中での対応をしていきます。

		具体的なことは、令和7年8月にロードマップでお示ししていく予定です。 これまで三田市は、三田市民病院に対して、年間17、18億円の繰出金をもって運営を支援していますが、新病院の30年平均の実質的な負担は、それを少し下回る程度に収まる試算になっています。新病院は三田市において必要な施設であり、これまでと変わらない範囲の中での負担で維持できると考えています。 （三田市）
	新病院における収支シミュレーションでは、令和13年度は、2億5500万円の赤字ですが、令和14年度に4億8000万円、令和15年度に5億1千万円の黒字になった以降、黒字額は減っていきますが、なぜ黒字になるのか分かりません。 また、医業収益、料金収入は、140億ぐらいになっており、最終的には152億ぐらいまで増えています。この料金収入が、どのように積算されたのか詳しく分かりやすく説明してほしいです。	どこの病院も同じですが、開設初年度からいきなりfullの患者さんが入るのは、なかなか難しいと考えています。全体として、3、4年かけて患者数が増え、令和14年度から黒字化する見込みです。 令和17～18年度で、黒字幅が少し減っていますが、これは三田市の病院事業債の返済にあわせて、済生会兵庫県病院が建設費用の1/3を負担する枠組みのなかで、病院事業債元金の返済が、据え置き期間が終了した6年後から始まるためです。 （済生会兵庫県病院）
4	説明を聞いて、助かる命を助ける病院を作るんだ、というのが一番残っています。診療科目が増えること、医師が集まる病院を作るという説明でしたので、そういう病院を是非、作っていただきたい。 例えば、ドクターカーや院内救急車について今後の予定があれば聞かせてください。	ドクターカー、院内救急車に関しては今のところ設置はしない予定ですが、心臓血管外科などの診療科を揃えて、自分の病院の中で対応できるようにし、救える命を救う病院を作りたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
5	2つの病院が統合すると、100床余りの病床数が減ると思いますが、本当に地域の方々を受け入れることができるのでしょうか。	病床に関しては、両病院とも稼働率90%以上という状況ではありません。今後、一時患者数は増えますが、その後は減ってきます。その時に、大きすぎる病院でしたら、今後の経営状態が悪くなり

		ます。それを見越して、425 床という病床数を設定しています。 （済生会兵庫県病院）
	断らない救急にするといいますが、ドクターの体制は本当にとれるのでしょうか。	今後、大学に掛け合っていき、救急医を集めていきます。開院までの間に体制を十分確保していきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
	新しい病院は、急性期病院ということですが、急性期が終わった後の受け皿はどうなるのでしょうか。	三田市民病院も済生会兵庫県病院も、跡地に受け皿として機能していただく病院を誘致して、受け皿を増やしていきたいと考えています。 また、北区の医師会の中にある病院部会で北区の主要病院の院長が集まって、将来的な連携などの話もしています。 （済生会兵庫県病院）
6	令和 12 年度の開設という話でしたけれども、一刻も早く、できるだけ早く、開設をお願いしたい。	受け止めさせていただきます。 （済生会兵庫県病院）
7	長尾町宅原の交番がある交差点がイオンに行く客で特に渋滞しています。このアクセスの問題について、お聞きしたい。	交通量調査等から、時間帯・曜日等によって、交差点中心に混雑している状況があることを我々も認識しています。周辺道路の渋滞対策について、病院の敷地内に車両をどこから入れるかも含めて、何か病院事業の範囲でできることがないか神戸市も一緒になって考えていきたいと思います。 （神戸市）
	新病院を建設する場所は、山林ですが、土地所有者と話はついているのでしょうか。	買収に伴う交渉は、もう少し後になりますが、この土地を病院事業として買収させていただきたいという点に関しては、一定のご理解やご了承をいただいていると認識しています。 （神戸市）

	済生会兵庫県病院は跡地に何らかの医療機能を残すとか言って、何かごましています。特に藤原台周辺の人のことを考えて、もう少しはっきりさせてください。 済生会兵庫県病院の経営状況は赤字になっていませんか。両病院の経営状況が、赤字の状況で、新しい病院を建てて、両病院は借金を抱えたまま統合再編する。これで2、3年目以降、黒字に転化するというでたらめな話はやめてください。	跡地については、5年先で相手方もいる話になります。この地域の中で医療機能をしっかりと残していけるように、動いてまいりたいと考えています。 （済生会兵庫県病院） 今年度は確かに赤字という状況です。人件費も跳ね上がっていますし、物価高騰、エネルギー高騰等の影響もあり、どこも、今年度の経営は非常に厳しい状況です。一般企業であれば、価格に転嫁できますが、医療は、診療報酬という公定価格で決められています。経営は厳しい状況にはありますが、病院をあげて経営改善に向けて取り組んでいるところです。 新病院になってからもそうですが、新病院に向けても、しっかりと運営していきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
8	統合前の来年度から済生会兵庫県病院が指定管理者として運営を請け負われるということですが、新病院ができるまでの間、本当に大丈夫でしょうか。 4年くらい前に、三田市民病院と済生会兵庫県病院の今後のあり方検討会において、済生会兵庫県病院は建設したときの借金36億円があり、とても建替えがで	大前提として、病院収入は公定価格です。食費、光熱費はあがっているため赤字になります。この地域の急性期医療を守ることが我々のミッションですので、赤字という厳しい状況の中でも経営改善に向けて、病院一丸となって取り組んでいます。 済生会兵庫県病院は、兵庫の地で100年以上に渡り、公的病院としてしっかり役割を果たしてきました。地域に信頼される病院として、新病院までもしっかりと運営をしてまいりたいと考えています。 （済生会兵庫県病院） 当初の借金ですが、現在も残っており、毎年返済している状況です。新病院でも続く状況かもしれませんが、返済していきながら、しっかりと運営をしていきた

	きる状態ではなく、単独ではやっていけないとはっきり言われました。その借金は今どうなっているのか、どのように返していくのでしょうか。	いと考えています。 （済生会兵庫県病院）
	新病院は全室個室とのことですが、有料、無料の個室はどのくらいでしょうか。	公立病院という位置づけになるので、差額が取れるベッドは3割までと決まっています。7割の病室は、差額ベッド代が取れない病室になります。例えばトイレ、シャワーの有無等によって、個室の中で差をつけていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
	災害拠点病院に準ずると書いていますが、災害拠点病院とどういう違いがあるのでしょうか。	災害拠点病院の施設基準というのがいくつかありますが、準ずるというのは必ずしもその基準通りにはなっていないという意味です。例えば、災害派遣医療チームを持っていることが災害拠点病院の要件になっていますが、新病院ではそこまでの想定をしていません。 ただ、免震構造であるとか、3日分の備蓄を要するとか、通常時の6割程度の自家発電の保有などについては、災害拠点病院の基準をクリアすべく整備をしていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
	先ほど病床は全室埋まってないという話がありましたが、少なくとも私の家族が入院したときには全室埋まっており、有料個室を希望しましたが、特別室に入ってくれと言われました。お見舞いに行った時も全室埋まっていました。少し話が違うと思いますが、その時だけ満室だったのでしょうか。	たまたまそのときに個室が埋まっている場合や、男性の大部屋は空いているが、女性の部屋はいっぱいの場合などがありますが、これまで満床になってどの部屋も入れないということはありません。 （済生会兵庫県病院）
	説明会の資料の中に、用地費について一言も書いていません。用地費は三田市が最初に支払って、最終的に補助金等が入って、その残りを神戸市が支払うとい	用地に関しては今後、買収交渉等に入っていくものですので、今時点で公表の予定はありません。考え方としては、まず三田市が病院事業債という借金をした

	うことだが、そういうことは市民に知らせないといけないと思います。整備費のことばかり書いて、用地費が書かれていないというのは不十分だと思うので指摘をさせていただきたい。 アクセスの問題ですが、シャトルバスに乗るのに本当に大変な思いで岡場まで来られている。岡場から宅原まで 25 分、混んでいたら 30 分かかる。そのシャトルバスに具合が悪い人たちが乗ることを想像してほしい。際にならないとわからないではなくて、今から真剣に検討してほしいです。	上で買収し、神戸市は交付税を除いた部分について、三田市の償還に応じて負担します。 現病院の場所から少し離れることで、皆様方からいろいろとご意見をいただいていることは重々承知しています。それでも神戸市内に新しい病院として残るということで、土地に関しては神戸市が負担をする考え方です。 （神戸市） アクセスについては、皆さま方の想いを受け止めさせていただいて、今後、検討・調整を進めていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
9	建設費は利子も含めて 661 億円、それに医療機器等を入れるともっと膨らむと思います。三田市では 10 年間で 93 億円の収支不足、その後、返済でも毎年 22 億円。三田市の財政が立ち行かなくなるのではないでしょうか。それに済生会兵庫県病院も約 162 億円の負担となっているが、このシミュレーションでは、令和 22 年までで 30 億円くらいの返済にしかなっていません。そして、36 億円の赤字もあることも聞いています。本当に病院の経営が成り立つのか、分相応という言葉がありますが、もう一度考えていただきたいと思います。	整備費については、三田市が病院事業債を発行して、その償還に合わせて済生会兵庫県病院が 1/3 を負担し、合計で 162 億円になるという計算です。収支シミュレーションの医業費用にその他の項目があり、その中に返済額が計上されていますので、シミュレーションどおり運営をしていけば、162 億円が返済されることになります。 （済生会兵庫県病院）
10	2024 年 4 月に医師の働き方改革の問題が出された背景というのが、医師の長時間労働と、医療の質を落とさないようにということで、この改革が進められてきたと思います。今回の新病院の特徴と	以前は、医師は教授にこの病院に行けと言われたら絶対に従っていました。今は、医師が病院を選ぶ。若い医師が集まる病院には、大学も優れた指導医を派遣するという好循環になります。残念なが

	して、救急医療の充実を掲げていますが、現在の診療科目より 12 増やした 35 の診療科目で、医師とか看護師が集まるのでしょうか。	ら今の三田市民病院と、済生会兵庫県病院の規模、医療機能では、研修医は何とかなるが、その後は機能の良い病院に流れてしまう。そのため、統合により機能の高い、若い医師が定着する病院を作らないと、今のままの両病院では、衰退あるのみです。 （済生会兵庫県病院）
	物価がどんどん上がって、医療情勢も厳しい中で、全国的な医療機関の経営状態は赤字が 7 割近く出ていると言われています。そのような中で、本当にやっていけるのでしょうか。	診療報酬価格はそれほど上がっていないため、どうしても経営が苦しいですが、両病院は、このまま経営していたら共倒れになります。何とか生き残っても、医者が集まらない、機能の低い病院しか残らない。皆様に十分な医療が提供できないことが目に見えていますので、統合は絶対必要です。ただ経営に関しては努力するしかないと思っています。 （済生会兵庫県病院）
	オープンの翌年の令和 14 年に 4 億 8100 万円ということで、5 億円近くの黒字になっています。西市民病院では、オープン後 8 年目が黒字になっていますが、本当に翌年から利益が出る経営ができるのでしょうか。	心臓血管外科の新設や、脳神経外科・、がん機能などを充実させようとしています。これらの疾患について、北神・三田地域で完結できておらず、半分近くの患者さんが六甲山の南に流れている状況です。それを圏域内で完結をしたいということです。 開設初年度からなかなか患者さんが集まることは厳しいですが、今まで圏域外に行っていた患者さんが、我々の病院に来ていただくことで、14 年度からは 4 億 8,100 万、15 年度は 5 億 1,600 万の黒字というシミュレーションをしていますので、ご理解をいただきたいと思います。 （済生会兵庫県病院）
11	国の予算が 31 日に成立した過程で、国民総合医療費 50 兆円のうち 4 兆円削減するという話になっています。これからどんどんそれを進めていくという方針の	あり方検討委員会のときに、我々は本当に急性期医療を続けられるのかどうかも議論しました。回復期にするほうが経営は楽ですが、我々が急性期医療を辞め

	ようです。保険医療は成り立ちません。新しい病院ができる頃に、そういう国民医療費がどうなっているか考えているのでしょうか。	てしまったら、救急車は全て六甲山の南に行かないといけなくなります。確かに医療費削減、物価があがっているが診療報酬が上がらないなど色々なことがありますが、六甲山北側の急性期医療を守ることを我々は諦めません。与えられた要件の中で、どうやって急性期医療を守っていくか、我々として汗をかいた結果です。これはご理解いただきたいと思います。 （済生会兵庫県病院）
12	跡地の問題で、相手があることということですが、現済生会兵庫県病院について、何らかの医療機能を残すことを最優先で検討すると書かれています。 その中身は、済生会でやるという形だけではないのでしょうか。また、今あるベッドの範囲内での機能を考えているのでしょうか。	跡地に何らかの医療機関を残したいという想いは変わっていませんが、済生会がそのまま跡地で経営を続けると、２病院が残ることになり、統合したことになりません。その場合は国の交付税措置は40%ではなく25%となり、今よりもさらに負担がかかってきます。 地域でこれまで済生会が行ってきた医療機能を残したいと思っていますので、皆様方の意見を受け止めた上で、どんなことができるか真剣に検討していきたいと思っています。 また、新病院の統合に使わない病床数については、地域医療構想の中で、残った病床の使い方を神戸市等と、地域の中で決定をしていく枠組みになっていますので、今、跡地の病床数のことを申し上げられない状況をご理解ください。 （済生会兵庫県病院）
	回復期のベッド数は、北区全体では足りない状況にあるのではないか。	機能別の回復期病床数について、区別の数字は手元に資料がないのでお答えできませんが、神戸医療圏としては不足しています。跡地に医療機能を残したいという済生会兵庫県病院や地域の皆様方の想いは我々も聞いていますが、圏域内の病床については、一旦は神戸市全体の共有のものになりますので、跡地で何床が

		使えるのかという点は、今の時点で判断できません。 （神戸市）
13	これから三田市と藤原台とかは、どんどん高齢者が増えてくると思います。増えてくるのに、なぜ425床になるのでしょうか。 三田市で病院債を発行すると言われていますが、本当に買ってもらえるのでしょうか。病院のためにお金を使うのであれば、今ある病院を改修して残してほしいです。	医療需要のピーク時を両病院の患者数、診療機能をもとに見込み、さらに、診療機能が高まる部分の患者様の来院される数等を推計する中で、425 床が適切な病床数と判断をしています。 （三田市） 今回、病院事業債という、いわゆる地方債の中で政府の資金を借り入れます。既に総務省との事前協議も始まっていますし、資金調達ができることと、同時に交付税措置による国の支援を受けることを前提に進めています。 三田市での建替えの話については、今の規模で建替えても、医師の確保は現実的に困難なので、急性期を維持する上では、この再編統合を進めることが最終的な判断となっています。 （三田市）
14	医者の問題ですが、説明では、以前は病院長なり医局長の指示に従い派遣されていたが、現在は、医師が自分で判断して行くと言われていました。ところが、別の説明では神戸大学病院長が太鼓判を押してくれたと言われたとのことでした。矛盾しているのではないでしょうか。	医師が病院を選ぶということは、研修医が終わり、専攻医、その後、スタッフになって、この病院で働く選択をすることです。昔ほどの強制的なものではありませんが、まだ、教授の声掛けは、指導医、スタッフに関しては、ある程度の効果があります。ただ、教授に声掛けをしてもらうためには、一定の規模や若い医師が集まるような病院にならないといけません。 神戸大学の病院長の太鼓判というのは、教授会の中で統合病院を神戸大学として支援することで、教授に対して、各医局員に新しい病院に行きませんかという声掛けをしましょうと言っていただきました。

	三田市立病院でなくなるため、一旦職員は解雇になるのでしょうか。身分が不安定な状況に両病院の先生を置くと、先に辞められて、よそに行ってしまうのではないか心配しています。	（済生会兵庫県病院） 来年度から予定している先行指定管理という中で、今の三田市民病院の職員は、一旦整理退職という形になり、済生会兵庫県病院での勤務を希望する方は移籍することになります。このことは、ドクターを除いた全職員に、3 回の面談を行っています。それぞれの職員の意向をお聞きし、どれだけの職員が残留を希望しているか全て把握しています。必要な人員については、令和 8 年度に向けて、現在、採用活動などの人材確保を進めている状況です。 （三田市）
15	新病院は 2030 年末にオープン予定ということで、その頃は日本でかなり技術が進歩しているが、その時にどういう状況にあるのかが資料に書かれていません。 30 年後には、6Ｇの世界になると思っており、5Ｇでも離れたところから画面で治療、手術ができるようになっているので、そういう機械を入れておけば、わざわざ先生が来る必要もありません。そういう経費節減を考えた設備に仕上がっているのでしょうか。また、何年か前から、どこかから金をよこせ、データを寄越せとなっています（マルウェア）が、それを防ぐ設備になっているのでしょうか。	機器の整備、IT 活用、経費削減に関しては、現時点で具体的にどういう機器を整備するかは決まっていないので、今後、設計をしていく中でどういった運用をするのか、しっかりと協議・検討をしたいと考えています。 その中でご指摘のあった、ウイルス、セキュリティ問題については、しっかりと対応できる病院にしていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
	インフラ、水道、ガス、下水道の費用については収支シミュレーションに入っておらず、莫大なお金がかかると思いますが、それに関しては神戸市が市のお金でやるので載せていないと認識してよいのでしょうか。	整備費の負担は、三田市が 2/3 を負担、残り 1/3 を済生会兵庫県病院が負担します。その三田市の負担の中に、交付税措置や県からの補助金があります。そうでない部分の返済の内、神戸市民の方が救急や周産期でお世話になる部分を神戸市としては負担する考え方です。 （神戸市）

	大規模災害時、三田市の消防が来るのか、神戸市の災害本部から来るのかという部分も含めた安心安全の部分が書かれていません。	具体的な運用の話になりますので、今後、両消防との間でしっかりと協議をしていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
16	１年に１回くらい説明会を開いて進捗を報告するなど、住民説明会をもっと密にやっていただきたい。	１年に１回、進捗状況をその都度、住民説明会でご説明するのは、なかなか難しいと思います。 今時点で次の説明会の開催は考えておりませんが、説明すべきことが出てくれば、済生会兵庫県病院、三田市、神戸市で考えさせていただきたいと思います。 （神戸市）

済生会兵庫県病院・神戸市による新病院の基本計画にかかる住民説明会

質疑応答まとめ（令和７年４月 23 日）

No.	質問・意見	回答
1	北神地域は岡場駅からのシャトルバスとのことですが、三田市からのバスの運行はどうなるのでしょうか。	現在、三田駅から新病院を経由する既存のバス路線があります。その路線の増便、あるいは違う拠点からの路線について、神姫バスと協議を進めていきます。 その補完として、シャトルバスの運行も併せて検討していきます。 （三田市）
	岡場から新病院まで、幹線道路がすごく渋滞するため、電車の利用も考えられますので、神鉄道場駅など新病院により近い駅からも検討をお願いします。	新病院に近い駅からのアクセスについては、今後、公共交通機関に検討いただくよう働きかけを行うとともに、シャトルバスについても必要性を検討・協議をしていきたいと思います。 （済生会兵庫県病院）
2	大きな病院になると、電子化などで、受付が色々になると思います。患者さんに合った案内など、利用者に優しい施設になるのでしょうか。	高齢の患者様も安心して受診いただけるよう、患者さんに優しい病院となるよう十分に配慮していきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）

	病院の近くに調剤薬局ができるのかお聞きしたいです。	新病院については、土地の利用が制限されており、敷地内に病院以外の機能である調剤薬局を設置するのは難しい状況です。 近隣に調剤薬局が出来るよう働きかけをしていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
3	急性期基幹病院はどういう定義なのでしょうか。	定義はありませんが、救急車も受け入れられる病院で、高度な医療機能があるなど、六甲山の南まで行かなくても北神三田市地域の急性期医療のほとんどをカバーできる地域オンリーワンの病院を想定しています。 （済生会兵庫県病院）
	医師数について、例えば5年後、10年後になったら、引退される医者も出てきます。年齢構成などの点も考慮されているのでしょうか。	統合により機能が向上して魅力的な病院になることで、住民の皆様にも、より良い医療が提供でき、医師にとっても魅力のある病院になることで、若い医師も残ってくれます。そうなれば、大学からも良い医者が来るようになるなど、好循環になっていきます。統合して成功した病院は、みんなそのようになっています。 （済生会兵庫県病院）
	収支シミュレーションは、減価償却費も考慮して2年目から黒字化されるのでしょうか。	指定管理者として済生会が運営する収支のシミュレーションの中には減価償却費は入っていません。ただ、済生会が負担する整備費の 1/3 の負担額については、医業費用のその他の箇所に計上しており、それを返済しながら2年目から黒字となるシミュレーションになっています。 （済生会兵庫県病院）

4	建設が予定されている宅原地域は、市街化調整区域であり、病院は本来建てられないと思います。農地を転用していくとなると、一つは農業委員会の承認が必要になります。もう一つが、都市計画審議会の審議を経て、議会の承認が必要になり、かなりの日数がかかると思われますが、令和８年度に土地の取得ができるでしょうか。 農業委員会、都市計画審議会での審議の状況をご説明いただきたい。予定されている時間軸がどうなっているのかも含めて、ご説明をお願いします。	農地の転用にあたっては、まず農振除外という手続きがありますが、事業認定という手続きを経た公共事業については、簡易な手続きで、速やかにできることになっています。また、同時に市街化調整区域においても、本事業は、開発の許可を受けられることになります。令和9年度の9月頃を予定している着工に先立って、令和８年度の用地取得を目指して、事業認定申請を進めていきたいと思っています。開発行為については、都市計画の見直しなどの手続きを経ずに進められますので、お示ししているスケジュールでできると考えています。 （三田市）
5	新病院のイメージ図が南北逆さまになっている。一般的には北側を上向きにすべきではないでしょうか。 新病院の用地は一つの区画か何筆か重なった土地になるのでしょうか。また、この土地の所有者が何年くらい前から所有されているか分かりますか。 例えば、取得年月日が古かったら、地権者はどんどん変わっているはずだから、現在何人くらいの地権者がいるのかも併せて教えていただきたい。	わかりにくくて、申し訳ありませんが、このイラストは、予定している建物の正面玄関が手前側となるイメージで作っています。 （三田市） 土地の筆数は、おそらく100筆くらいかと思いますが、最終的に取得後に合筆していく予定です。 また、取得時期はまちまちですが、登記名義人が亡くなっているところもあり、現在地権者の特定作業を進めておりますが、大半の土地については確認できています。 （三田市）
6	急性期は 14 日以内に退院する制度になっていると思いますが、新病院になり、より救急を強くすれば、入院期間の制限が出てくるのでしょうか。	急性期の期間は、一般論として概ね14日と言われていますが、疾患によって違います。病院は診療報酬という公定価格の中で収益を得ており、診療報酬の算定において疾病ごとに日数が決められています。急性期病院として特化しなければ、診療報酬上のペナルティにより、不利益が生じ経営が立ち行かなくなります。

		（済生会兵庫県病院）
	看護師等の人員規模について、子どもの幼児期のケアサービスなども含めて、新病院の総人員を教えてください。	職員数についは、全部で900人を少し超える規模を想定しています。 （済生会兵庫県病院）
7	済生会兵庫県病院が神戸市中央区から、岡場へ来られた時の負債 37 億円が今は34億円になっていると思いますが、今後どのように返済をされるのでしょうか。また、三田市は、この借金問題について、どのように考えておられるのでしょうか。	現在地に移転する際の借金については、現在、34億円の借金が残っている状態です。今後、新病院開院までも定期的に返済していきますし、新病院に移った後も、指定管理者として、しっかりと医療を充実させながら、返済を続けていく考えです。 （済生会兵庫県病院） 三田市として、債務があることは承知しています。病院事業では、医療機器や施設の整備は一括ではできず、債務を負った上で償還していくのが通常です。 済生会においても、医療事業をはじめ、介護や福祉と多様な事業が行われており、その中で計画的に償還されると認識しており、三田市として問題視する内容ではないと理解しています。 （三田市）
	済生会の借金は済生会のポケットマネーで返済すべきで、新病院の運営で儲けたもので返すのは筋が違うのではないでしょうか。三田市はどう認識しているのですか。	新病院になっても、指定管理という形で、経営については済生会が運営をしていきます。新病院ができた後の借金の返済につきましても、済生会のポケットマネーの中で返済をしていくという枠組みは変わりがないと認識しています。 （済生会兵庫県病院） 三田市の認識としては、新病院の運営のほか、介護事業や福祉事業を含めた全体の運営の中で得た収益をもって償還していくのは当然のことであると思います。 （三田市）

8	指摘になりますが、国からの交付税が40%と説明をされていました。確かに国からの額面は40%となっていますが、実際に計算すると、県の補助金を抜いても27~28%ぐらいにしかならないと思います。以前、三田市にお聞きしたところ、平米単価が実際は 90 万円くらいかかるところが足りないため、実質はそれより少ないとのことでしたが、そうしたことを説明に加えていただけるとありがたいなと思います。 個室化するのでその分の病床稼働率が上がるのは分かりますが、病床稼働率90%は余裕がないと思います。いざというときに本当に患者の受け入れができるのでしょうか。例えば、パンデミックが起こったときに、どのようにカバーされるのかをお聞きしたい。	90%は高い数字ですが、現在、病床の稼働率が上がらないのは、男性部屋、女性部屋があり、また、感染症が発生したら４人部屋に１人で入っていただくことにもなっていることが原因ですので、個室化することで、それがカバーでき、稼働率があがります。 済生会兵庫県病院は、コロナ渦にこの北区で患者を受けた数少ない病院ですが、陰圧室、感染症病室がなく、４床部屋のため、他の患者を全部断って、病棟を全部コロナ病棟にしないといけませんでした。個室ならそこまではいりませんし、陰圧室もでき、感染症対応はしっかりできます。 新興感染症は必ず起こると言われています。我々が断ったら、診る医療機関がないので、断れません。そうした考えのうえで整備していることをご理解いただけたらと思います。 （済生会兵庫県病院）
9	新しい病院の名前は、いつごろ決まるのでしょうか。	新病院の開設届を出す頃になるかと思っています。 （三田市）

10	令和 5 年度の病床機能報告では、三田市民病院が 8 床、済生会兵庫県病院が 39 床の休床となっていますが、稼働していない病床はそれ以上あるのでしょうか。それぞれの数を具体的に教えていただきたいと思います。 市街化調整区域ですので、用途区域の変更や、農業委員会の申請も必要と回答されていましたが、神戸市にある土地なので、神戸市の農業委員会、都市計画の委員会に申請をされることでいいでしょうか。	令和 5 年はコロナ対応病棟として 39 床を休床していましたが、令和 7 年度は、すべての病床を使っています。 （済生会兵庫県病院） 三田市民病院の病床機能報告の状況について今すぐにお答えできず、申し訳ございません。 （三田市） 県の事業認定の手続きを経たうえで、神戸市の農政計画課、農業委員会に農振除外、それから農地の転用という行政手続きを三田市がさせていただきます。 （三田市）
11	神戸市からの運営費の支援について、支援額の決め方やどれくらい見込めるものなのか、ずっと続くものなのかについて、教えてください。	支援は大きく 2 つあります。1 つは、整備費にかかる支援ですが、1/3 は済生会兵庫県病院が負担をして、2/3 については三田市が整備費を負担します。そのうち 40%の国からの交付税を除く金額について、新病院の救急医療や周産期医療の病床に対して、神戸市民の入院患者の割合に応じて神戸市が支援をすることになっています。 用地費に関しては、入院患者の割合等ではなく、三田市の実質負担分を神戸市が負担をすることになります。 もう一つは、運営費です。救急や周産期の収支不足部分に関して、神戸市民の入院患者の割合に応じた支援をさせていただきます。基本協定を三田市、神戸市、済生会兵庫県病院で結んでいますので、すでに決めているものになります。 （神戸市）

済生会兵庫県病院・神戸市による新病院の基本計画にかかる住民説明会

質疑応答まとめ（令和７年４月 29 日）

No.	質問・意見	回答
1	神鉄道場駅からイオンモール神戸北に向かう長尾交番前交差点について、東西の右折レーンが非常に短くて、いつも混んでいます。道路を広げるよう、神戸市に要請をしていただけないでしょうか。	病院事業の中で、東西方向の道路部分までは難しい面がありますが、何か出来ることがないか検討しているところです。もう少し救急や来院者の方々の動線等がはっきりすれば、その点も踏まえて、引き続き検討をしていきたいと思います。 （神戸市）
2	済生会兵庫県病院の負担からすると、三田市の負担がすごく多いように思います。三田市民の負担が多くなりすぎると思うので、もう少し財政面で議論がいるのではないでしょうか。	本事業では、まず三田市が一旦病院事業債を発行して資金を借り入れ、その 40%について、国から交付税が措置されます。 その枠組みのもと、三田市の負担が 2/3、済生会兵庫県病院の負担が 1/3 という財政負担の内訳を組み立てています。 建設単価 1 ㎡当たり 59 万円までという上限がございますが、国の交付税措置を活用することについて説明し、三田市民のみなさまにご理解をいただきたいと考えています。 （三田市）
	岡場駅からシャトルバスが出るとのことですが、三田市民も岡場まで来ないといけないのでしょうか。両市の市民の利益を守ってこその新病院だと思います。	現状、三田駅からアウトレット行きのバスが 1 日 20 数便出ていますが、主な交通拠点は三田駅だけでなく新三田駅等、色々なルートがあります。現在、神姫バスと協議をしておりますが、開院は 5 年後ですので、具体的なルートの検討まで至っておりません。公共交通で補えない部分については、シャトルバスの運行も検討していきたいと考えています。 （三田市）
3	市街化調整区域から市街化区域に変更するとなると、神戸市の都市計画審議会にかけないといけないと聞いています。	今回の開発行為について、すでに神戸市の関係部局と協議をしており、市街化調整区域であっても、今回の病院の整備

	また、山林と田んぼという土地を宅地化するには、宅地造成許可の手続きがいると思われますが、そういった開発許可等にかかる時間や手続きについて、教えていただきたいと思います。	にあたっては、開発の要件を満たしていれば許可をいただけることになっていますので、都市計画の見直し等の必要はありません。 （三田市）
	5 月に環境アセスメントの説明会があるようですが、今後どのような手続きが行われるのでしょうか。	環境アセスメントについては今後、縦覧等を行います。その説明の中で対応させていただきたいと思っています。 （三田市）
	新病院の整備にあたって、造成に利用する土砂は全て敷地内の土砂で対応するのでしょうか、それとも、外から土砂を持ってくるのでしょうか。ダンプカーで多量の土砂を搬入するとなると渋滞も気になるところです。	土地の造成について、山林部分は切土になると思いますので、そこで生じた残土を活用して土地の造成を進めていくことが基本になると思います。その中で余剰が出れば処分の必要がありますし、足りなければ外部から土砂をもってくる必要がありますが、今後の設計段階で決まるものと考えています。 （三田市）
	土地の地権者は何人おられるのでしょうか。	地権者は概ね 60 人ぐらいですが、まだ相続登記を終えていないものもありますので、正確な数はこれからの把握になります。 （三田市）
4	公表された基本計画では整備費が利息を含め 661 億円となっており、そのうちの 1/3 を済生会兵庫県病院が返済していくことを織り込んでも、病院経営が成り立つ根拠をもう少しわかりやすく説明いただけないでしょうか。 経営優先にした病院運営にならないか、患者負担が増加するのではないかと心配しています。	済生会兵庫県病院は、三田市が建設にあたって発行した病院事業債を一定年数かけて返済するのに合わせて、その 1/3 を負担しますが、その経費は毎年の収支の中にある医業費用のその他の項目に組み込まれています。 病院は診療報酬という公定価格で経営しますので、建築費の上昇による負担増は運営側がみることになり、患者さんにいくことはありません。 その負担増分も含めて、患者さんの確保と医療収益を上げることで、令和 14 年度から黒字化の見込みを立てていますの

		で、ご理解いただきたいと思います。 （済生会兵庫県病院）
5	慢性疾患の患者さんが多数受診されると、その機能を本当に必要な患者さんの治療に生かすことができなくなるので、かかりつけ医を持ちましょうと「なでしこ 80 号」に書いてあり、これが今の済生会兵庫県病院の体制と思いますが、新病院になると、ますます急性期の患者さんしか診てもらえなくなるのではないかと心配です。慢性疾患の方は診てもらえなくなるのでしょうか。 例えば新病院で手術を受けた後に、急性期を過ぎると転院することになるのでしょうか。受け皿はどうなるのでしょうか。 新病院における収支シミュレーションについて、2 年目から黒字になる根拠は何でしょうか。診療点数の高いものだけを診る病院になるのではないでしょうか。	急性期病院の場合は、全国どの病院も病診連携と言って、普段は開業医に診ていただき、開業医の手に負えないときはこちらを紹介していただきます。 開業医さんで診ることのできる患者さんが病院の外来に殺到すると、入院患者さんの診療に手が回らなくなりますので、そこのところは是非使い分けをしていただきたいです。 急性期の手術後、状態が落ち着き退院できる方は退院してもらいますが、病状が予断を許さないのに、時期が来たら退院してもらうことは絶対ありません。 （済生会兵庫県病院） 他の県立病院でもそうですが、初年度からなかなか患者さんが集まらない状況ですので、3～4 年かけて患者さんが増えていくシミュレーションで収支をたてています。 一方、人件費については、初年度から full の体制を前提に計上していることから、初年度は赤字の状況になります。 十分に患者さんが増えていないのに、2 年目から黒字のシミュレーションとなっているのは、一番負担の大きい建設に要する経費の償還が、5 年間据え置きとなり、令和 14 年度はその部分の償還がまだないためです。 （済生会兵庫県病院）
6	済生会兵庫県病院が返済する 162 億円について、どのように返済するのか具体的にお聞きしたい。	整備費 162 億円の返済については、三田市が病院事業債を発行して、毎年返済を行う金額の 1/3 を済生会兵庫県病院が指定管理者負担金として、三田市にお支払いすることになります。それについては、収支シミュレーションの医療費用の

		その他の経費の中に計上されています。 （済生会兵庫県病院）
	今度新しくできる病院は 2.5 次救急とのことで、3 次救急は行わないとのことですが、六甲山の北側で治療できない人は、六甲山の南側の病院で治療してもらうということであれば、今までと同じではないでしょうか。	1 次救急は自分の足で来院され、入院を必要としない疾患。2 次救急は入院を必要とする疾患。3 次救急は高度な救命救急センターでないと対応できないような疾患が対象となります。 2.5 次救急というのは 2 次救急と 3 次救急の中間の重症度の患者さんが対象です。済生会兵庫県病院も三田市民病院も 2 次救急になります。 現在は、2 次救急のレベルでも診療科がない、医者がいないことなどを原因に六甲山の南の病院に患者さんが流出しています。地域の病院として十分な役目を果たすために、まず 2 次救急、診療科によっては 2.5 次救急まで対応できる病院を作る、それが我々の使命です。 （済生会兵庫県病院）
	新病院では小児の NICU 設置しないのでしょうか。	NICU は現在も済生会兵庫県病院にありますし、新病院でも継続いたします。 （済生会兵庫県病院）
7	20 年ほど前にお世話になった際、済生会兵庫県病院の周産期は素晴らしいと思い、その後も毎月乳児検診があって、乳児の状態によっては 3 歳ぐらいまでずっと診ていただけたのですが、これからもやっていただけるのでしょうか。	現在もやっておりますし、今後も続けていきます。 （済生会兵庫県病院）
8	新病院は広域の医療センターという立場で運営される予定でしょうか。県内の近隣の市町村からも来られると思います。もしそうであれば、兵庫県が支援するとか携わることはないのでしょうか。	県立病院ではないですが、兵庫県の地域医療介護総合確保基金から資金援助を受けることになっています。 今後の医療提供体制が大きく変わった際に兵庫県がどのような役割を果たしていくかは、今後の課題と考えています。 （済生会兵庫県病院）

9	建設地の田んぼは、公共事業の圃場整備で交付金をいただいていますが、交付金の還付をされるのでしょうか。	建設予定地は、おっしゃられるとおり国の補助金が入って、圃場整備されていますが、整備から一定期間経過していますので、補助金返還の必要はありません。純粋に土地の鑑定評価をしたうえで、取得させていただく考えです。 （三田市）
	駐車場 1300 台と書いてありますが少ないと思います。	新病院の常勤の職員数を試算しまして、その上で 1 日の外来患者数、入院の患者数を精査して 1,300 台の計画をしています。 （三田市）
	今年、私の家族が急な腹痛に襲われた際、済生会兵庫県病院には断られたが、北播磨総合医療センターはすぐに診ていただけました。新病院はそのようなことがないようにお願いします。	済生会兵庫県病院に救急が断られたことについては申し訳なかったです。しかしながら、マンパワーにも限りがあります。 北播磨総合医療センターが受け入れたのは病院の規模です。ただ、北播磨で救急の受け入れが出来ず、三田市民病院で受け入れることもあります。そのときの状況によることもご理解いただければと思います。 （済生会兵庫県病院）
	新しい病院の体制についてはきっちりと責任を取っていただくような体制を作っていただきたいと思います	いただいたご意見を踏まえて、新病院の運営体制については、運営者の済生会兵庫県病院と三田市、神戸市とで十分に協議し、進めていきます。 （三田市）
10	済生会兵庫県病院が行っている無料低額診療について、新病院で継続されるのでしょうか。	無料低額診療は、済生会の事業ということで、新病院でも続けていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
	全室個室になるということについて、差額ベッド代が三田市民病院と済生会兵庫県病院ではだいぶ違う状況ですが、考	公立病院の場合、差額ベッドは全病床の 3 割という制約があります。その 3 割については差額ベッド代を徴収する。そ

	え方を教えてください。 これまでの保険医療計画では神戸圏域は病床過剰でしたが、改定により 258 床不足になり、三田市の阪神圏域でも 1,568 床不足という結果が出て、三田市民病院がなくなると更に不足するという状況になります。病床規模という点で言えば、済生会兵庫県病院も三田市民病院もそれぞれ 425 床の病院をつくることもできると思います。神戸大学の協力を得て、三田市にも急性期医療を守れる病院をつくるべきと思いますがいかがでしょうか。	れ以外については徴収をしない整理になると思います。 （済生会兵庫県病院） 現在の済生会兵庫県病院を単独で 425 床に増やすことができるかについては、医師の確保や、財政の負担等も含めて考えると急性期病院として将来継続していくことは難しく、病床の過剰非過剰による問題ではないと認識しています。 （神戸市） 三田市は神戸市北区とは有馬郡という地続きの中で、非常に患者さんの流出入が多い地域であり、実態に即した形で、三田・北神地域の急性期を守っていくために済生会と三田市民病院の統合で 425 床という新病院の計画をしています。単純に三田市だけで病床を増やすことは、医師確保のことを考えても不可能に近いですので、急性期医療を守るためにはこの選択しか手段がないという中で対応してきたことをご理解いただきたいと思います。 （三田市）
11	済生会兵庫県病院と三田市民病院には残債務があると聞いています。これらの債務は新病院の収入から返済を続けていくのでしょうか。	三田市民病院については、初期整備の償還はすべて終わっています。現在ある債務は、現在の病院の改修や医療機器の更新によって生じた債務になります。 現病院の返済については、公営企業と同じスキームにより、1/2 を本市からの繰出金で補填していきます。 （三田市） 済生会兵庫県病院の残債は残っていますが、毎年度、返済を続けているところです。新病院移行後も済生会が運営をする立場にありますので、新病院の中で生み出された収益の中から一定額の返済を

		続けていくと理解しています。 （済生会兵庫県病院）
	新病院が赤字になった場合、その赤字は、済生会兵庫県病院と三田市のどちらが負担するのでしょうか。	令和 8 年度から、現在の三田市民病院も済生会兵庫県病院が指定管理という形で運営していくことになりますが、その協定の考え方では、基本的な運営によって生じた赤字については、済生会兵庫県病院で解決いただくことになるため、基本的に三田市が補填することはありません。 （三田市） 赤字の場合は、基本的に済生会兵庫県病院が負担をする枠組みに変わりはありません。 （済生会兵庫県病院）
	残債務の返済について、基本計画の収支シミュレーションに含まれているのでしょうか。	現病院の残債務の返済については、収支シミュレーションには計上していません。 （済生会兵庫県病院）
12	統合によってお互いの病院がカバーしあってより良くなればと思いますが、三田市での反対運動がすごいです。再編統合の計画が出たときから、ほぼ毎日のように署名活動をされています。三田市民病院がなくなることに不安に感じている市民もいるのではないかと思いますが、三田市は市民に対してどのように丁寧に説明をして、納得をしていただく努力をされているのでしょうか。	色々な反対があることは、承知しています。前市長の時には各地域での説明会を 20 数回していますし、現在の市長に代わってからも、市民の皆様のお声を聞くために 57 回の説明会をしています。その後も跡地について、市民の皆様のお声を聞く機会を設け、基本計画に関する説明会も 4 回実施しています。 多数の方々のご理解が進んできていると認識しており、引き続きご理解いただけるように取り組んでいきたいと思います。 （三田市）
13	本来であれば神戸市、済生会が開催したように誰でも参加できて質問できる説明会にすべきと思いますが、三田市の説	大きな市税の投入について不安に思っている市民の方も多くいる中で、三田市長が出席し、市長自らも市民の皆様にし

	明会は三田市民だけしか参加できず、しかも応募制になっています。そのような制限をつけた説明会は排除の論理をされているという気がします。神戸市民も三田市民病院を利用しているのだから、もっと多くの人がオープンに参加できる説明会がこれからのやり方ではないでしょうか。 済生会兵庫県病院が岡場にあることによって、地域の経済がどれだけ潤っているかという経済効果についてよく考えてほしい。医療経済学という学問の教授に聞くと、病院があることによって、100 万円が 1 年後に 600 万円になるくらいの経済効果があるとのことである。エコールリラのお店も、病院があるから回っていると言っていた。移転先は商業地ではなく、田んぼが多い。経済効果に関する問題について済生会兵庫県病院はどのようにお考えでしょうか。	っかりとお伝えをしたいとのことで、三田市民の方々を対象にしました。 また、事前の申し込みは、万が一定員を超える場合、事前に他の日程を案内できるように配慮した中での対応です。結果として定員を超えるような状況はございませんでした。定員を超える状況でなければ、当日の飛び込み参加も大歓迎です。いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。 （三田市） 病院が経済効果を持っていることは否定しませんが、我々は、まず医療を守っていくことを第一義的に考えています。岡場に済生会兵庫県病院を残しても急性期医療は守れませんので、我々として、それはできないことをご理解いただきたいと思います。 新病院になれば、425 床で北神三田地域の両方が集まり、かなりの集客力になります。また、ドクターもたくさん地域に集まるようになり、大きな経済効果はあると思います。 （済生会兵庫県病院）
14	全国の中小病院の 6 割が赤字と聞いています。そうした状況で、現在の両病院の経営状況はどうなっているのでしょうか。新病院開院後 2 年で黒字化するとのことですが、その前に両病院が潰れてしまうことが一番の心配です。	まず総論では、病院の収入は公定価格である診療報酬だけです。米や電気ガスの値段が上がっている中で、診療報酬が上がっていないため赤字が生まれます。 また、各論で言いますと、済生会兵庫県病院は、救急や周産期医療をしています。特に周産期医療はすごい赤字です。患者さんが来なければ、費用はすべて病院負担です。黒字のために経営しているわけではなく、この地域の課題を解決するために経営しています。 最近の物価高騰等の影響もあって、済生会兵庫県病院も赤字になっていますが、現在、病院全体で経営改善に向けて

		取り組んでいます。この兵庫の地に済生会兵庫県病院として誕生して 100 年以上しっかりと運営をしてきた自負がありますので、しっかりと運営をしていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院） 三田市民病院の経営について、令和 5 年度は収支が赤字となっています。これは、新型コロナウイルスのまん延により、令和 5 年度途中まで全ての病床を空けることができなかったためです。。つい先般から 300 床全稼働できる状況に戻り、看護師も確保できた状況です。今後、済生会兵庫県病院と協力しながら、新病院に向けた体制を整え、診療機能も高めていきながら、運営していきたいと思います。今後は経営が改善していくものと見込んでいます。 （三田市）
	再編統合について、両病院は医療圏域が違います。通常の統合は市区町村の単位で行うものですが、三田市と神戸市で市をまたいで行っているのはどういうことでしょうか。	この 2 つの地域は旧有馬郡として一定の交流がある地域です。圏域が違うからといって、我々が生き延びる術は統合しかありません。この北神三田地域の救急医療を守るための統合ですので、ご支援をいたければと思います。 （済生会兵庫県病院）
	三田市民病院と異なり、済生会兵庫県病院の跡地活用については、何らかの医療機能を残すことを最優先に検討しているとしか書かれていない。最近始めた児童発達支援事業を跡地で残すのでしょうか。	児童発達支援事業所「なないろ」については、跡地になるかは分かりませんが、何らかの形で残していきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）
15	病院経営で診療報酬が上がらない限り赤字が続くのであれば、三田市民や神戸市民が負担することになるのではないかと心配しています。	救急等で不採算の部分はありますが、病院全体の中で、黒字化を目指して運営をしていきたいと考えています。赤字の負担は、新病院の運営を行う済生会兵庫

	患者の医療の確保には救急だけではなく、慢性疾患の患者の対応をどうするのかも大事だと思います。	県病院が負うことになります。 （済生会兵庫県病院） 慢性疾患の場合は、地域のクリニック等で対応可能な患者さんは、適切な医療機関で対応していただきます。慢性疾患でも急性的に悪くなった場合、入院治療が必要な患者さんは当然お受けしますが、病状が落ち着いた場合は、再び地域の医療機関にお願いすることになります。それは今もこれからも変わりません。 （済生会兵庫県病院）
16	済生会兵庫県病院の広報誌「なでしこvol.80」では、軽い風邪や腹痛、慢性疾患の患者が多く来られると、本来の患者の治療ができないため、かかりつけ医を持つようにと書かれていますが、現在、通院している患者さんの何割が新病院にかかれるのかを知りたいです。 本当に地域の医療機関と連携がとれるのかという問題もありますし、病気への不安を抱えている高齢の患者さんに他の病院に行きなさいと簡単に言えるのでしょうか。 私たちが病院にかかるときには、医療内容と同じくらいアクセスの問題を考えています。なぜ新病院を三田市民病院と済生会兵庫県病院の中間地点の、辺鄙な交通機関も使えないようなところにしたのでしょうか。 一般の医療機関は、交通ネットワークを利用して誰でも行けるところにあると思います。公共交通の補完としてシャトルバスを運行すると書かれていますけど、具体的なことが全然書かれていないことが不満です。	何割の患者さんが新病院にかかれるかについては、現時点ではわかりませんが、当病院でフォローしないといけない患者さんは引き続き新病院で対応いたします。しかし、地域の開業医さんに十分お任せできる患者さんには、丁寧にご説明のうえ、開業医さんでの受診をお願いさせていただき、普段は開業医さんで、救急等何かあった場合は我々が対応します。 今の時点で何割かは言及できません。 （済生会兵庫県病院） 整備場所については、400 床を超える病院を整備するために、神戸市、三田市、済生会兵庫県病院の 3 者で協議をして、決定いたしました。 新病院へのアクセスについては、課題と認識していますので、公共交通機関への働きかけ等も含めて、引き続き検討をしていきたいと考えています。 （済生会兵庫県病院）

17	資料の収支シミュレーションは、どこが作られたのでしょうか。 この収支シミュレーションの指定管理料は三田市から済生会兵庫県病院に入る5億円と考えていいのでしょうか。 済生会兵庫県病院について、これまでの借金が残っているのであれば、シミュレーションの中で、その分も新病院の収支の中から返済をしていくのか、きちんとその金額や裏付けを示すべきと思います。 済生会兵庫県病院の借金額や整備費・運営費の負担、医療収益にかかる患者数の見込み等、具体的なものが書かれていないので、そこをしっかりと示していただきたいと思います。	この収支シミュレーションは、三田市と済生会兵庫県病院が神戸市とも協議をしながら作成をしたものです。 （済生会兵庫県病院） 指定管理料 5.5 億円は、三田市から済生会兵庫県病院に払われる金額です。 （済生会兵庫県病院） この収支シミュレーションは新病院の運営に関するものですので、現済生会兵庫県病院の負債返済は別会計になります。 （済生会兵庫県病院） 現在の残債は 34 億になります。 入院患者の最大値については、382.8 人を想定しています。開院後 3～5 年をかけて最大値になり、その後はしばらくその数字が続くシミュレーションで立てていますので、最初は赤字ですが、徐々に黒字化することになっています。 （済生会兵庫県病院）
18	新病院の病床数について、これまでの説明会で、両病院とも現在でも空ベッドがあるので、425 床でも少なくはないとの回答をされた一方で、別の場面では、今は満床になっていると回答されたとお聞きしました。本当に新病院の病床数は少なくないのでしょうか。	新病院の 425 床については、今後の両病院の診療圏内の人口推計、疾病の罹患率等に基づいてピークを見込み、その上で診療機能が高まることによって増加する患者数、これらを加えて算定をしています。 両病院の患者さんには、重症度が少し低い、急性期より少し安定された方もおられます。そうした状況の中で、回復期の医療機能を持った病院の誘致を検討している跡地と新病院で機能を分担しながら、跡地も含めて全体の病床を有効に活用し、医療を包括的に提供していくことが今回の取り組みの一つと考えています。

		（三田市）
	済生会兵庫県病院の跡地について、特別養護老人ホームは残していただけるのでしょうか。	特別養護老人ホーム「ふじの里」などは現在の場所で継続予定としています。 （済生会兵庫県病院）
19	済生会兵庫県病院を現在利用している西宮市民の外来・入院の割合について教えてください。その上で、新しい病院は場所が変わりますので、今利用されている患者さんが行けなくなるという影響は必ずあると思いますが、患者数のシミュレーションにおいて、西宮北部の人たちが、どのくらい影響を受けるのか教えてください。	外来・入院それぞれの数値は持ち合わせていませんが、16%が西宮市民になります。影響については想定していません。 （済生会兵庫県病院）
	現在、利用されている西宮市民のためにどのようなアクセスを保障し、対策を行うのか教えてください。	西宮市民の新病院までの交通アクセスについて、現時点においては、この場でのお答えはできかねます。 本市で検討した結果について、後日、別途お答えしたいと考えています。 （西宮市）